

本年は創業30周年、 心新たに取り組んでいきます

常務取締役 本店店長 大橋 和則

新年明けましておめでとうございます。旧年中は多くのご愛顧賜り誠に有難うございました。まほろばもこの地に産声を上げ今年で30年の大きな節目を迎える事が出来ました事、今まで決して平坦では無く苦難も数多くありましたが、その都度支えていただきましたお客様、取引先の方々、従業員に感謝いたします。有難うございます。

私も入社し何時の間にか25年の歳月が流れ、その当時のお客様がお互いに年を重ね、今も変わらずご利用して頂いている事に深いご縁を感じます。

入社当時は、この業界の事はもちろん社会人としても未熟で右も左も分からず、社長宅で1年近く、赤の他人である私に夜の食事をさせて頂き、食の大切さ、0-1テスト、生命力、人生観、自然観、農業、食品、思想、哲学等の多くを語らい学び、それまでの価値観や固定観念の違いに戸惑いながら今に繋がっていると感謝しています。

23歳の時、父親の事業の失敗から人生のどん底を味わい、自分を奮い立たせ第2の人生に選んだのがまほろばでした、周りからは自然食?まほろば?何で?とよく言われましたが、自分の学び場としては最高だったように思います。

仕事内容は、朝の仕入れ、品出し、受注、発注、配達、荷造りなど、一人で何役もこなし決して楽ではない内容でしたが、農業をしていた私にして見れば、週に1回の休みがある事が幸せでしたし、精神的に辛い時期を乗り越えていたので、前向きに取り組む事が出来ました。今思えば、父親の事業の失敗が無ければ、現在の自分は無かったと、父親に感謝出来る様になりました。

「人生に於いて失敗のない人生は失敗である」と精神科医の斎藤茂太氏が言っていますが、偉人達は、失敗の中から多くを学び偉業を成し遂げています。

昨年の暮れ「ゆかりちゃん・ゆかりちゃん」と呼ばれ多くの人に慕われていた社員の城越が退社することになりましたが、このピンチをチャンスに捉え、まほろばも大きく変革しなければいけない時期に来ていると思います

20年ほど前に自然食業界では大手の神戸のナチュラルハウスを見学した事が有り、その当時で、POSレジ2台を既に導入し、レストランを併設、化粧品から肉魚、惣菜、パンなど全てが揃う

最先端の店内を見て、将来まほろばもそうありたいと思っていた事が、7年前にほぼ実現、今では自社農園、浄水器を始めとするオリジナル商品も数多く、業界の先を行くまでに成りましたが、まほろばの思想哲学である「小国寡民」から少し逸脱気味で、植物に例えるならば徒長野菜、根とのバランスが悪く上ばかりが伸びすぎてしまっている様にも思います。

今までの30年は、兎に角前へ進む事で求心力を付け、外へ向かって情報を発信してきましたが、次のステップはシフトを入れ直し、身の丈に合った形で、会社として遅れている組織作りや人材の教育などに力を入れ、更なる充実を図りたいと思います。

社会の縮図が会社とするならば、資本主義経済の経済優先の社会の歪が、弱者を切り捨て、幸せの基準を勘違いしている昨今。まほろばでは、弱者でも働ける場で有りたい、個々の欠点をお互いが補い、長所を出し合える会社にしたいと思っていますが、毎日の業務の中で効率を上げながら、どう実現するかが今後の課題と思っています。私の能力不足でお客様に満足に対応出来ていない現実を心苦しく思います。

昨年、元東京農大の小泉武夫先生が「発酵文化推進機構」を立ち上げられ、まほろばも参加させて頂いておりますが、21世紀は発酵の力で世界を救うと公言されています。

まほろばの場で、腐敗をさせないで良い発酵させる水エリクサー水と、個々が上手く発酵することで、角が取れ良いものが醸し出される可能性がありますので、今年1年温かく見守って頂ければと思います。

本年は創業30周年の大イベントが有ります。心新たに取り組んでいきたいと思いますので更なる愛顧のほど宜しくお願ひ申し上げます

本年が皆様にとって幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

